

第32軍司令部壕保存・公開検討委員会

第2回会合 議事概要

日時：令和3年3月29日(月)

午後1時55分～午後3時52分

場所：自治研修所4階401・402研修室

—【委員】—

法 律	玉城 辰彦	ていだ法律事務所	弁護士
経 済／観 光	下地 貴子	(一財)沖縄観光コンベンションビューロー	受入事業部長
沖 縄 戦 研 究	吉 浜 忍	元沖縄国際大学総合文化学部	教授
戦 跡 文 化 財	大城 和喜	元南風原文化センター	館長
応 用 地 質 学	佐々木靖人	国立研究開発法人土木研究所	地質監
地 盤 工 学	伊 東 孝	国立大学法人琉球大学工学部	教授
ト ン ネル 工 学	小 泉 淳	早稲田大学	名誉教授
地 域 振 興	宮良 吉雄	首里自治会長連絡協議会	会長
平 和 教 育	仲泊 和枝	(特非)沖縄平和協力センター	理事長
情 報 技 術	永井 義人	(一財)沖縄ITイノベーション戦略センター	専務理事

—【事務局】—

沖縄県子ども生活福祉部 女性力・平和推進課 / 保護・援護課

沖縄県土木建築部 都市公園課

沖縄県教育庁 文化財課

那覇市

日本工営株式会社

—【議事概要】—

- 1 開 会
- 2 第1回会合議事概要の確認
- 3 資料収集事業の成果報告
- 4 文化財指定に関する説明
 - ① 文化財指定について
 - ② 沖縄陸軍病院南風原壕群について
 - ③ 指定の要件・課題等について
- 5 議事

(1) 戦跡文化財 大城委員の意見

- ・ 私たちは 1990 年に南風原陸軍病院壕を文化財に指定して、17 年という歳月をかけて公開した。
- ・ 32軍壕は沖縄戦を語る生きた史跡、生きた現場であり、歴史的価値や沖縄戦の継承の場、平和学習の場としての価値も非常に高いことから、永久に保存・活用するために沖縄戦の戦跡として県の文化財指定にすべきである。

(2) 意見交換・質疑応答

○情報技術 永井委員

- ・ 文化財指定における制限として「遺構に即した整備を除く改変行為(例:資料館の設置・駐車場等の便益施設の整備)も困難」とあるが、沖縄陸軍病院南風原壕群の資料館や駐車場はどのような位置づけか。

○沖縄県教育庁文化財課

- ・ 文化財の指定地の中でということであり、南風原壕群の資料館や駐車場は離れた場所となっている。

○応用地質学 佐々木委員

- ・ 32軍壕は実際に入れず、調査できていない場所があるが、文化財の指定をするときには、指定地の範囲を明確にするため、実際に中に入って全て測量しなければならないのか。
- ・ 崩れている場所もあり、その部分は測量しなくてもよいか。

○沖縄県教育庁文化財課

- ・ 現在明らかになっている所を測量した上で、規模や一部試掘により価値を明らかにしていくという方法も考えられるが、現在埋まっているであろう坑道については場所も定かでないため、現時点においてはなんとも言えない。

○沖縄戦研究 吉浜委員

- ・ 県民の75%が保存・公開したいとアンケートに答えていることを前提に議論しながら進めていくべきであり、県だけでなく那覇市も含めて文化財指定について進めてほしい。
- ・ 様々な事実を明らかにするために学術的な調査や、安全性を確保した上で発掘調査等の総合的な調査を行い、文化財指定については今後も議論させてほしい。
- ・ 少し話が膨らむが、将来的には32軍壕も含めて沖縄県の戦争遺跡群を負の遺産として

世界文化遺産登録できるよう取り組んでほしい。

○地盤工学 伊東委員

- ・ 文化財指定をするために範囲の明確化が必要であるならば、弾性波探査や電気探査のような範囲を特定するための調査が必要である。
- ・ エンジニアリングトンネルのところで水の流れた跡があった。今後保存・公開していくためには水の出入りを把握し対策する必要がある。
- ・ 空洞がある限りどんどん劣化していくため、積極的に調査して保存するためにお金が必要となれば、文化財に指定するということも必要かと思う。

○トンネル工学 小泉委員

- ・ どこまで文化財に指定して公開するか、公開するなら補強が不可欠であるがどこまでの補強であれば文化財に指定できるか、文化財に指定したら改変はできなくなることから、ある程度直した状態で指定を受けるということも考えなければいけない。
- ・ 追加指定のような、段階を追って文化財の指定を行うことも考えないといけない。
- ・ 最初に地質調査等を行い、全体像を把握する必要がある。

○地域振興 宮良委員

- ・ 学校の敷地から首里城の城壁の近くまで、そうしたところの安全面を考慮し、どこまで掘削できるのか知りたい。
- ・ 様々な人々が保存・公開を求めて頑張っているので、そういう思いは酌み取ってほしいと思う。

○経済／観光 下地委員

- ・ 南風原の陸軍病院の壕に関しては、公開まで17年かかったということだが、このような調査をするのにどれくらいの年月を要するのか専門の先生方からお聞きしたい。
- ・ 32軍壕を永久保存して、継続して公開していくためには、ぜひ文化財の指定をするべきなのかなと感じた。
- ・ 32軍壕だけではなくて首里城の周りにはいろいろな戦争の遺跡もあるので、そこを面として活用した平和への発信という役割が大きくあると思う。

○平和教育 仲泊委員

- ・ 32軍司令部壕の重要性を考えると、文化財指定について進めていくべきかと思う。
- ・ 戦争がなぜ起こったのかを学ぶために大変重要な施設だと改めて痛感するとともに、保存にとっても時間がかかるのであれば、実際の場所に行かなくてもサイト等で公開する

ような仕組みがあってもいいと思う。

○法律 玉城委員長

- ・ 文化財保護法あるいは文化財に関する色々な規律等、様々なたががはめられていくと思うが、そのたがに必ずしも縛られることなく、こういうことを実現したいんだということをもとにぶつける必要がある。

6 閉会